

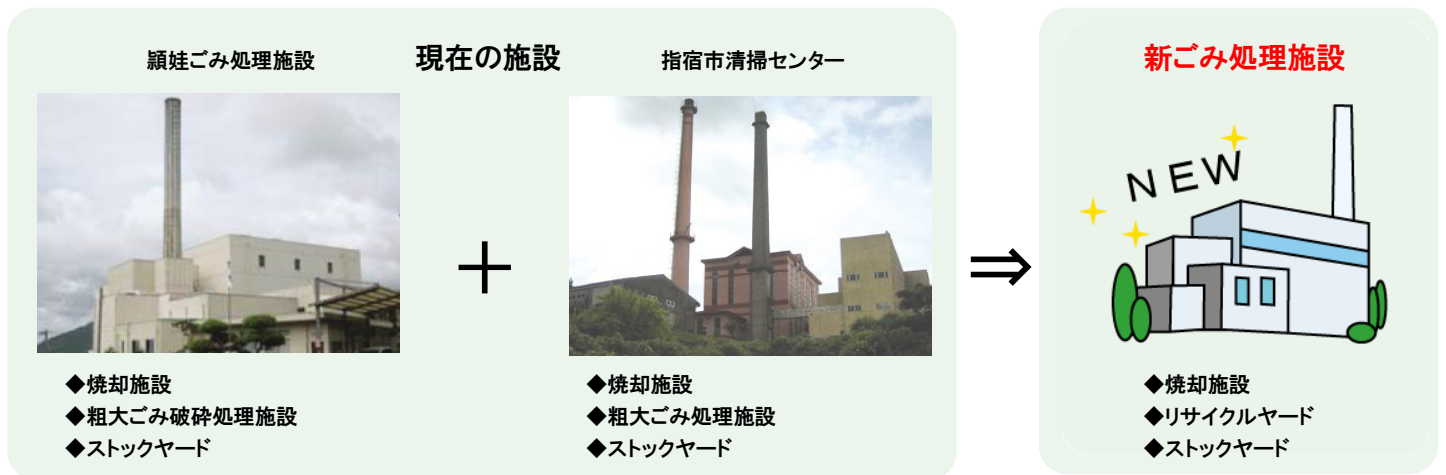
新ごみ処理施設整備基本計画 概要版

1. はじめに

現在、本組合圏域から発生する可燃ごみ、不燃ごみ等は、穎娃ごみ処理施設及び指宿市清掃センターで処理されています。しかし、両施設は老朽化が進み、年を重ねるごとに多額の施設補修費が必要となっており、効率的とは言えない運営がなされている状況です。

これらの課題を解決するためには、2つの施設を統合し、「新ごみ処理施設の整備」を進めていくことが重要となり、本組合及び指宿市にとって経済的・効率的であると考えられます。

そこで、穎娃ごみ処理施設と指宿市清掃センターの統合施設として、新ごみ処理施設を整備することとしました。



2. 施設整備に関する基本方針

① 安全・安心な施設

- 最新技術による信頼性の高い安全・安心な施設
- 地震や停電時も安全に運転を停止し、災害に強い施設

② 環境に十分配慮した施設

- ダイオキシン類や温室効果ガスの発生を抑えた、環境に配慮された施設
- 周辺の豊かな環境資源、生物多様性にも配慮した施設

③ 観光地である周辺地域との調和を図り、地元住民にも親しまれる施設

- 景観に配慮し、親しみやすい施設
- 住民との積極的なコミュニケーションを図り、見学者スペースや学習スペースを設けた施設

④ 維持管理の経済性・容易性に優れた施設

- 維持管理費の低減、設備機器の取り替え・補修等が容易な、維持管理性に優れた施設

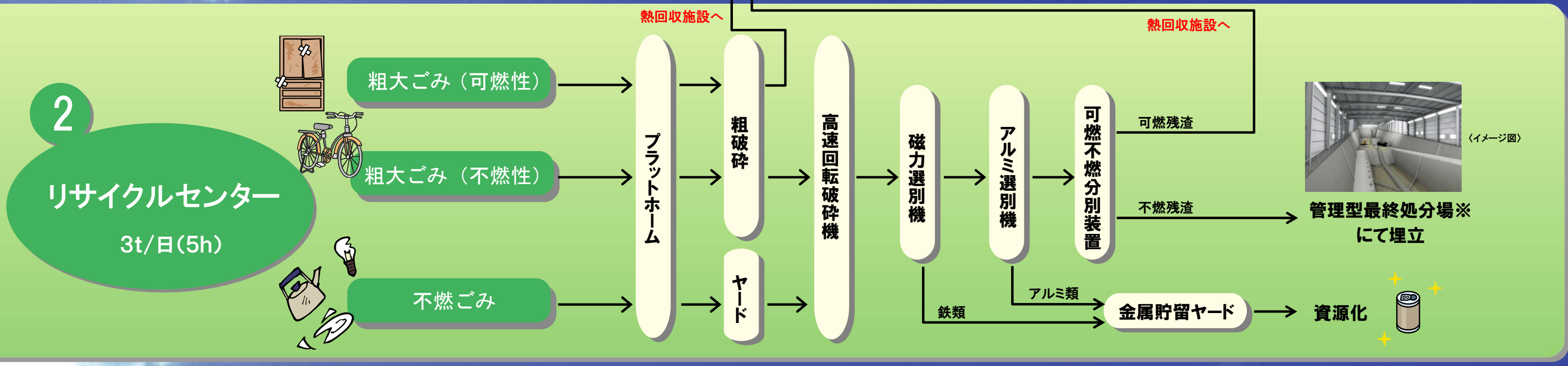
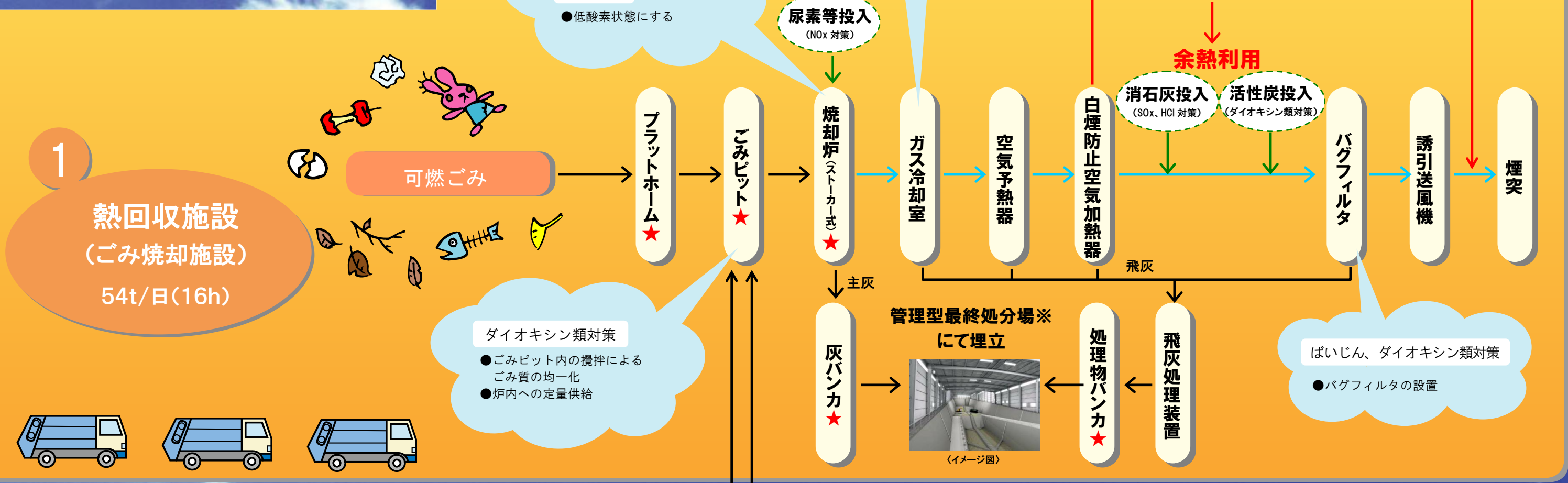


3. 整備する施設の内容

- ① 熱回収施設(ごみ焼却施設)
- ② リサイクルセンター
- ③ ストックヤード

排ガスの公害防止目標値	
●ばいじん	: 0.05g/m ³ N
●硫黄酸化物 (SO _x)	: 100ppm
●塩化水素 (HCl)	: 200ppm
●窒素酸化物 (NO _x)	: 200ppm
●一酸化炭素 (CO)	: 100ppm (1時間平均値) 30ppm (4時間平均値)
●ダイオキシン類	: 1.0 又は 3.0ng-TEQ/m ³ N

★
ごみ処理の過程で排出されるプラント排水は、施設内で処理される
「クローズドシステム」を採用しますので、施設の外には排出されません。



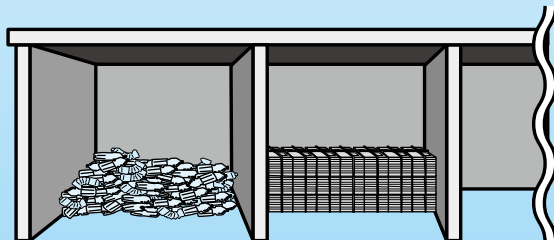
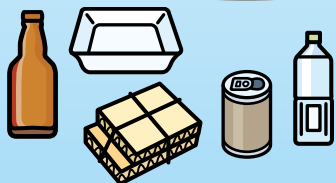
※現在整備中
注) 本処理フローは、今後の詳細設計により変更の可能性があります

3

ストックヤード
144㎡

対象品目

- 缶類（アルミ缶、スチール缶）
- ガラス類（無色びん、茶色びん、その他びん）
- ペットボトル
- その他プラスチック
- 発泡トレイ（トレイ、発泡スチロール）
- ダンボール
- 古紙（新聞、雑紙）
- 紙パック



資源化

4. おおよその建築費

3つの施設を整備するには、おおよそ4,028百万円必要となります。




この費用は国からの交付金、起債そして指宿市と南九州市の負担金でまか
なっています。

このほかにも建設地の造成工事費や、建設に必要な生活環境影響調査、建
設地の測量地質調査費用、また施設の基本設計等の費用が必要となります。

① 熱回収施設 (ごみ焼却施設)	3,581,000 千円
② リサイクルセンター	416,000 千円
③ スtockヤード	31,000 千円

5. 今後のスケジュール

平成24年度に建設予定地の選定や地域計画の策定を行い、設計・建設工事・各種手続き等に要する期間として
平成25~28年度の4年間を予定しており、平成29年度の稼働開始を目的に施設整備事業を進めていきます。

施設	年 度					
	H24	H25	H26	H27	H28	H29
 新ごみ処理施設	→ 建設予定地選定等		→ 設計・建設工事・各種手続き等			稼働
 穎娃ごみ処理施設			稼働	→		停止
 指宿市清掃センター			稼働	→		停止

新ごみ処理施設の稼働に向け、今後、施設基本設計や、
環境影響評価等、さらなる詳細検討を進めてまいりますので、
よろしく願いいたします。



編集・発行

指宿広域市町村圏組合

〒891-0604 鹿児島県指宿市開聞仙田711番地4

TEL 0993-26-2114 FAX 0993-26-2104